



読むこと・書くこと

俳句

組

番 名前

やってみよう!

(中学年)

【俳句】

俳句について、風景や場面を思いうかべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。

- ゆきさんの学級では、音読発表会で次の1から5の中から自分のお気に入りの俳句を一つ選んで、しょうかいします。



- 1 ひつばれる系まつすぐやかぶと虫
名月をとつてくれろとなく子かな
- 2 春の海終日のたりのたりかな
雪とけて村いづばいの子どもかな
- 3 七五三あめもたもともひきずりぬ
(*終日：一日中ということ。)
- 4
- 5



ゆきさんとまきえさんは、次のふきだしのように考えて音読発表会でしょうかいする俳句を選びました。あなたが音読してしょうかいすると思ったら、どんな理由で、どんな俳句をお気に入りとして選びますか。

1から5の中から一つ選び、その番号を□の中に書きましょう。また、選んだ理由をあと conditions に合わせて書きましょう。

★選んだ俳句

3

《条件》

- 選んだ俳句の様子がわかるように書くこと。
- 「〜から。」など、理由が分かるようにして書くこと。
- 四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

様子が目にうかぶから好きなの。



わたしもおなじように感じることがあるわ。

◆の印から、書き始めましょう。

例

空にある月をとってほしいとない
ているようすがとてもかわいくて
むかしも今もかわらないんだなと
思ったから。(五十一字)